

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（エリア担当）	・食料品やギフトが好調であることと、連休前の金曜日の乗客数や客単価が上がっていることから、今後も期待できると考えている。
	◎	旅行代理店（従業員）	・忙しくなってきた人手が足りない。ただし、雇用すると固定費が上がってしまうため、悩ましいところである。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・贈答用品が売れる分、売上は増えるとみている。
	○	スーパー（総務担当）	・年収の壁問題が議論されるなかで、変更されれば景気は上向きになると考える。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始にかけて来客数が伸びて景気は良くなってくる。
	○	コンビニ（店長）	・クリスマス時期で、ケーキの予約等が入ることもあり、景気は良くなる。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・希望的観測だが、年末年始を控えてある程度は人の流れが良くなる。多少、寒くなってきたので、衣料品関係も幾分動くという期待感も含めて、若干良くなる。
	○	家電量販店（店員）	・季節商材の伸びが良いため、期待できる。
	○	その他専門店（総務担当）	・通年での動向が良くなるため、期待している。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・予約数が例年になく増えている。新年会や成人式といった先の間合せも多い。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年始の予約や間合せが多数あり、貸切りの団体予約も少し入ってきている。
	○	都市型ホテル（経営者）	・忘年会や新年会シーズン特有ではあるものの、景気はやや良くなる。
	○	都市型ホテル（支配人）	・2019年比では売上はプラスになっているが、宿泊数や案件数については伸ばせる余地があるため、やや良くなっていく。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・稼働率も前年実績を超え、宿泊売上は相変わらず好調である。おせちも順調に受注できており、個人消費も伸びているようだが、飽くまで個人客である。オフィシャルではない小規模の忘年会や新年会等の受注が若干弱く、小さい会場の予約がまだ空いている点が心配である。
	○	タクシー（経営者）	・夜の動きが良くなってきたので、この先も良くなるとみている。
	○	美容室（経営者）	・歳末の売出し期間中は人出が多く、にぎわいを見せる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ここ何か月も同じような状態が続いているため、現状維持が良いところである。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年、冬季シーズンは売上が低調だが、暖冬傾向のため、国内旅行の客足は、他の季節と比べても極端に落ちることは少なくなっている。また、コロナ禍以降、外国人旅行者の出足も余り鈍らない傾向が続いているため、今後の景気も変わらず、比較的良好な状況を維持できるとみている。閑散期に人材確保と育成を図り、次の繁忙期をより良い状態で迎えられる準備ができれば、良い状況を維持できると考えている。	
□	百貨店（営業担当）	・来客数に対して買上客数が少ない傾向になっている。依然として物価が高く、不要不急な物品の購買にはシビアである。年末商戦や初売りを控えているが、現状維持か若干のマイナスを想定している。	
□	百貨店（営業担当）	・原材料価格の高騰による各種商品や仕入価格の上昇が続き、人件費の高騰等も重なり、日々の業務にも景気の停滞、悪化が見受けられる。営業活動に影響を及ぼさないよう対応策は取るものの、購買側も目新しい動きは期待できないため、変化はないと予測する。	
□	百貨店（店長）	・天候の影響もある印象で、直近は少し元のペースに戻りつつある。一進一退を繰り返しているが、大きくは変わらない。	
□	スーパー（商品部担当）	・良くなる要素がみえない。温暖化の影響か、農作物の品質、価格の不安定さ、水産物の価格高騰、食料品全体の値上げ等、家計が厳しくなる状況は変わらない。食料品スーパーは厳しい状況が続く。	

□	コンビニ（店長）	・景気が良くなるような要因が見当たらない。せめて現状維持を願うところである。
□	家電量販店（営業担当）	・ようやく気温が下がり、暖房商戦が立ち上がってきた。季節商材は前年比99%で推移している。今年は平年よりも雪がしっかり降る予報のため、エアコンや石油商材の売れ筋を確保していく予定である。映像関連は前年比90%で、パソコン関連は前年比85%と、大型案件を受注したものの、不振である。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産状況は、ほぼ安定している。ただし、人材不足や労働力不足が際立ってきている。業界全体では改善を考えているようだが、なかなか人は集まらない。
□	自動車備品販売店（経営者）	・身の回りで特に悪いことはないが、成長や発展といった前向き兆しも何もない。身の回りの客のムードが余り上がっていない。
□	住関連専門店（店長）	・国の大型政策や、その見通しのないなか、良くも悪くもならない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・国内外の政情は不安定さが増し、紛争に関わる報道も後を絶たない。当面、インバウンドに関わるカテゴリーだけは堅調だが、それ以外は物価高からくる防衛意識の高まりで、景気が良くなる要素は全くない。
□	旅行代理店（経営者）	・バス代金が高騰しているため、閑散期でも前年並みの売上は維持できるとみている。
□	旅行代理店（所長）	・シーズンオフになり来訪者数は少なくなるものの、インバウンドの堅調な動きから、ある程度の数字は期待できそうである。
□	タクシー運転手	・12月は多少の忘年会等はあるとみているが、帰宅時間が早く、タクシーの利用客は余り期待できない。
□	通信会社（社員）	・現時点では変わらないとみているが、政策による景気への影響はある。
□	通信会社（営業担当）	・商品の値上げ傾向が続いているため、単価の低い物を選んだり、購入数を抑える等、客の様子は変わらない。
□	テーマパーク（職員）	・例年と異なる天候や気温の影響、各仕入価格の高騰等、増収以上に営業費が膨らむと考えている。
□	ゴルフ練習場（経営者）	・まだしばらくは商材価格の上昇は続くようである。
□	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	・地方は景気上昇の情報が全くなく、このまま変わらないとみている。
□	設計事務所（所長）	・新政権で経済対策が進むかどうか。様々な点で、現状維持とみている。
□	その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（営業）	・コスト高は続いていくと考えるが、人手不足は解消されずせつかくの依頼を断る例も増えている。日程的にバランス良く受注する必要が出てきている。
▲	商店街（代表者）	・家族で話し合い、お歳暮は低単価の物を、送付先も最小限に減らすことにしている。商売では1月の成人式の記念撮影予約がまだまだ数件と、前年同月と比べてかなり少なく、先行きに不安が募る。
▲	コンビニ（エリア担当）	・イベントがなくなるため、やや悪くなる。
▲	衣料品専門店（店長）	・食料品等の生活必需品の値上げ品目が多くなっているため、消費が冷え込むとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注の伸びが悪く、受注残の積み増しにならず受注が減少している。
▲	一般レストラン（経営者）	・年末年始の波があるので、上がり下がりが激しいことは予想される。
▲	その他飲食 [給食・レストラン]（総務）	・主力の事業所給食部門では、食材費増加に加え、人手不足により人件費も上昇が続いている。最低賃金の見直しが毎年行われていることに加えて、社会保険の加入基準の見直しも検討されており、企業負担の増加から収支確保が引き続き厳しくなると懸念される。
▲	旅行代理店（営業担当）	・冬のボーナス次第だが、生活費を差し引いた分でどれだけをレジャーへ回せるかである。
▲	通信会社（総務担当）	・例年2月は最も販売が落ち込む。
▲	通信会社（局長）	・現状の単価の高騰が続くか横ばいで高止まりしていくと、生活費の節約や買い控えが発生する。

	▲	ゴルフ場（従業員）	・年末年始は9連休ということもあり、レジャーより旅行需要が高まっている。また、予約の推移が前年より遅れている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・米国の大統領交代の影響が出てくる可能性があり、より一層の状況悪化が予想される。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・世間では減税、減税と叫ばれているが、逆に減税を打ち消すようなネガティブな情報ばかりが出てきている。こうした状況では客は買おうとはしない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・明日のことさえ全く見通せないため、悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・実質は5年後だが、住宅金利が上がると聞くと更に財布のひもは固くなり、外食は更に減らすことになる。お金を使う気分になれないだろうし、家計から1番最初に削るのは外食になる。
	×	通信会社（経営者）	・あらゆる物が値上がりし、消費者も購入する物に優先順位をつけざるを得ない状況である。ここ数年で日本のエンゲル係数が急上昇しているのが何よりの証しである。アベノミクスの代償が現状である。さらには、急ピッチな賃金上昇で、企業にその責を負わせようとすれば、今後企業の倒産件数は増える一方ではないかと考えている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	化学工業（管理担当）	・受注済製品を製作中のため、1月には売上となる。2025年1～3月は増産体制を維持する予定である。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体製造用ロボットの分野で増産の情報があり、若干上向き見込みである。
	○	金融業（営業担当）	・新年を迎えるに当たり、価格上昇等はあるものの、個人消費の伸びがみられると考える。全体的には景気は3か月後には良くなるとみている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・これから3か月間くらいは、多忙が見込まれる。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この数か月はまずまずだったが、この先2～3か月は、受注量、販売量、取引先の様子が不透明で、全く分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等も、いまだ続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・年末年始に向かい、冬物家電、エアコン、ヒーター、加湿器、こたつ等は前年並みの物量を確保予定である。しかし、車両確保に際して、ドライバーや車両不足が発生し、輸送遅れやコスト高となり、利益は薄くなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・春闘前の賃上げは未決着の時期となり、年末年始の需要期も過ぎて、消費支出は手控えられるとみている。また、補助金事業が長い間未実施となっているため、特に、地域の中小企業等の設備投資は冷え込んだままで、受注や売上の業績伸長は期待薄である。
	□	司法書士	・法律改正の恩恵だが、相続関連の仕事もさほど多くはなく、少しだけ良くなったという状態が、このまま何年かは続いていくとみている。
	□	社会保険労務士	・補正予算案をみる限り、余り変わらない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・不安定な国内の政権運営に、先行きには不透明感や不安感しかない。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先の発注状況により、やや悪くなる。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・為替は円安傾向が続いており、米国新政権への移行後の動向に期待を持ってそうにない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・盛り上がる要素がなく、来年1月には米国大統領が変わり、関税がどうなるかによって全体的な雰囲気も変わってくる。かなり予断を許さない状況である。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産計画が減産傾向にあり、当初の計画よりも更に減産になるとの連絡が入っている。厳しい状況は続いている。
	▲	建設業（総務担当）	・補正予算の効果も見通せず、現時点での業務量だと先行きが心配な状況で、やや悪くなる。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・中国経済の悪化で、悪くなる。

	×	不動産業（管理担当）	・採用応募の問合せ数が減少しており、何とかして従業員を集めるには時給を上げるしかない。諸経費の値上げ等も併せて経費増加となる可能性が高く、せつかく取引先に値上げを了承してもらったところだが、利益の減少が発生する見込みである。
雇用 関連	◎	—	—
(北関東)	○	人材派遣会社（経営者）	・これから年末年始に向けてはギフトや食材集め、おせち等の動きが活発になる。クリスマス商戦なども結構積極的で、早い時期から宣伝広告を出しているようなので、このあたりで幾分持ち直すともみている。住宅関連、土木、公共事業等は年末年始に向けて、ピッチが上がっていく。ボーナスに期待しているところもある。
	□	人材派遣会社（社員）	・周りの業者には物産店を始め、野菜の卸業もあるが、今のところ、主な取引先のホテル、物産店、レストラン等の稼働は、まだ良い状態である。これから大きく変わるかというと、なかなかその辺りの見通しは立たないという話はしている。円安、円高、どちらの方に向かうかで観光地である当地の景気は変わる可能性がある。
	□	人材派遣会社（社員）	・業界問わず、募集依頼に対して人手不足の状況が解消されていない。比較的人気のある事務職でも、地域の相場以上の時給でないと人が集まらない状況が続いている。
	□	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人動向について、医療や福祉は増加傾向で推移している。建設業、製造業は減少傾向で、卸、小売、サービス業については、増減を繰り返している。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品製造会社が電気自動車対応により減産となり、派遣社員が減る。
	▲	学校〔専門学校〕（副校長）	・人手不足はすぐには解消できない。業界によっては厳しい状況となる可能性もある。
	×	*	*